

＜お題 7：土地境界データの活用＞

土地家屋調査士 白 土 洋 介

【アイデアの概要】

地番図 ＋ 送電線（地理院タイル）

【課 題】

再生可能エネルギー発電及び送電のため、送電線のデータが欲しくなるとともに鉄塔敷地及び変電所敷地の調査が必須となるが、公共座標の公図がない地区においては調査が難しいのが実情である。

【課題解決のための手法】

自治体の地番図を項目整理後ベクトルタイル化し、PMT i l e s にする。送電線のデータは、国土地理院最適化ベクトルタイルから送電線のレイヤをデコードしてG e o J S O N 化し、その後ベクトルタイル化（PMT i l e s）する

【上記手法の利用シーン】

今ここ何番地？には上記データ（地番図、送電線）は実装済みであり、送電関係（再生エネルギー関係、その他現地調査関係）の方には好評である。

地番図の変換については、38自治体あれば38通りの変換が必要であり、地番図公開のルールを作成することも日超過と思われる。